様式３

学校番号 64

令和　6　年度　学校評価書　（ 計画段階 ）

福岡県立　明善　高等学校

スクール・ミッション （本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像）	社会の一員として自立できる力を育成する夜間定時制高校 自主的・自立的に行動し、幸福な人生を育成するとともに、望ましい勤労観・職業観を持ち、自他を認め社会を生き抜く力を育成します。	
スクール・ポリシー （三つの方針）	グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）	（1）未来に向けて人生や社会を切り拓くことのできる能力や態度 （2）明朗闊達で他者への配慮を重んじる態度 （3）自由と責任を重んじ、地域社会の発展や環境の保全に貢献しようとする姿勢 （4）社会のために活用できる知識・技能及び困難なことにも対応できる思考力・判断力・表現力 （5）望ましい勤労観・職業観を身に付け、学びを人生や地域、世界に生かそうとする人間性
	カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）	（1）「基礎的・基本的な知識及び技能」の確実な習得を目指し、きめ細やかな指導による基礎学力の定着を図る。 （2）習熟度別授業や個別指導をより一層工夫し、ICTを活用した授業を行うなど生徒の実態に即した授業改善に取り組み、個に応じた指導の充実を図る。 （3）学校への帰属意識を高め、多様性を受容し自他を認め合う共感的な人間関係、人権尊重の精神、他者への配慮を重んじる態度を育て、いじめ撲滅に資するとともに、豊かな人間性を培う。 （4）キャリア教育を推進し、未来に向けて人生や社会を切り拓くことのできる能力と態度を育てることで「志の育成」に努め、望ましい勤労観、職業観の育成を図る。 （5）社会から信頼される開かれた学校を目指し、地域との連携を図るとともに、取組状況を地域に発信する。
	アドミッション・ポリシー （入学者の受け入れに関する方針）	（1）働きながら学び続ける意欲を持っている人～夕方からのチャレンジ～ （2）社会の一員として自立した生活をしたい人～これからの自分をリメイク～ （3）もう一度、学校に通い学び直しをしたい人～勉学のリスタート～ （4）本校の教育体制で、十分に成長が見込まれる人～定時制でのチャンス～

学校運営計画（4月）

学校運営方針	「克己・盡力・楽天」の校訓に基づく生徒育成を全ての指導の基本とし、少々の困難に負けることない、心身ともに強い、かつ健全な生徒を育成する。また、「確かな学力」、「豊かな人間性」を醸成するための良質な授業と主体的な学び、及び学校行事等を通じて、生き方、在り方や望ましい勤労観、職業観の育成を図り、「志の高い」生徒を育成する。		評価 （総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
〇積極的な家庭訪問や面談を行うとともに、教員間での情報交換を密に行った結果、全教職員が、生徒に対し協働で個に応じたきめ細やかな対応ができた。 〇多様な生育環境、成長過程にある生徒に適切な対応を行うため、行政、病院、中学校、NPO等、その生徒に対応した関係者との連携を行った結果、生徒によっては自立できる環境を構築できた。 〇これまでのきめ細やかな指導は継続しつつ、言語活動を含め特別な配慮を必要とする生徒への個別指導及び手立ても充実させる。	「基礎的・基本的な知識及び技能」を確実に習得させ、これらを活用し、課題を解決するために必要な「思考力」と「判断力」・「表現力」等を育成する。	〇「わかる授業」を基本とした創意工夫を凝らした授業を展開する。 〇達成感や学ぶことの喜びを感じさせるため、個に応じたきめ細かな指導、段階的な指導を行い、基礎学力の向上に努める、「確かな学力の育成」と「深い学び」を実現する。 〇ICTの有効活用に努め、来るDX時代への対応能力を培う。	
	特別活動を中心に、「自己有用感」や「自己肯定感」を育み、「自己存在感」を感受させ、相互扶助的で共感的な人間関係を構築する能力を育成する。	〇生徒一人ひとりが「一人の人間として大切にされている」と実感できる機会を意図的に設ける。 〇「ありのままの自分を受け入れる」ことのできる自己肯定感を身に付けさせ、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断・決定できる能力を育成する。	
	望ましい勤労観や職業観を育成することを通じて、自らの将来を見据える力を育成する。	〇「間違えることを恐れない、失敗を恐れない」雰囲気を常日頃から大切にし、生徒一人一人に目を配る。 〇自他を認め合うことのできる人間関係の構築、人権尊重の精神、「いじめ」を許さない精神を育成する。 〇行政、SSW、SC等の関係機関や有識者との連携を行い、誰一人取り残さない対応を行う。	
	「明朗な精神」、「配慮の精神」及び「奉仕の精神」の涵養を図る。	〇何事にも明るく、積極的に取り組もうとする姿勢を評価し、支援する。 〇地域人材・社会との交流活動等も推進するとともに、ボランティア活動等への参加を奨励する。	
	日本の文化・伝統を理解させるとともに、地域社会の発展や環境の保全に貢献し、未来を切り拓こうとする態度の涵養を図る。	〇様々な入学動機や学習歴を持つ生徒に、適宜、学び直しの機会を提供する。 〇困難を抱える生徒の社会的自立を図るための確かな学力と社会生活実践力を身につけさせ、豊かな人間性を育む。 〇多様な生徒が、その能力や可能性を最大限に伸ばし、相互に認め合いながら、学校教育に全員で参加する集団作りを目指す。	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の項目等	生徒、保護者対象のアンケート（外部アンケート等）の結果等
教務部	学ぶ意欲の喚起と学力保障	個に応じたきめ細かな指導を行い基礎学力の向上に努める。	生徒対象の授業アンケート（全科目）	
		3観点による学習評価と授業アンケートにより、授業改善に努める。		
		ICTの効果的な活用方法の研修を行い、より分かる授業を目指す。		
	生徒の実態に合致した教育活動の推進	担任と生徒・保護者との連携により信頼関係を確立し教育活動全般に生かす。	保護者対象の学習アンケート	
		生徒の背景を全職員で共有し、個に応じた適切な指導を行う。		
		「わかる授業」を基本とした達成感が感じられる創意工夫を凝らした授業を展開する。		
生徒指導部	問題行動の事前防止	情報交換会の充実を図る。	学校生活の充実度合いについての生徒アンケート	
		個別面談の計画化を図る。		
		生徒会の活性化に努める。		
	基本的生活習慣の確立	遅刻・欠席指導を徹底する。	規範意識教育についての保護者アンケート	
		定期的な全校集会を実施する。		
		規範意識教育の体系化を図る。		
進路指導部	適切な進路選択ができる環境づくり	個人面談等を通して学校や職場での生徒の状況を把握する。	生徒対象の進路アンケート	
		校外の関係機関と連携してキャリア教育を行う。		
		ハローワークとの連携を強化し求人を開拓する。		
	自己肯定感の高揚と進路意識の向上	就労体験を通して望ましい勤労観を育成するため、アルバイトを奨励する。	生徒対象の進路アンケート	
		進路講演会や進路別説明会等を通して、早期の目標設定につなげる。		
		各種検定・資格の取得を奨励するとともに指導を充実する。		
保健部	規則正しい生活習慣の確立と心身の自己管理能力の育成	健康診断の主体的受診と未受診者への指導の徹底をはかる。	健康生活アンケート 性に関する講演会後のアンケート	
		性に関する講演を行い、基礎的な知識を涵養する。		
		給食指導委員会を定期的に開催し、喫食率の向上に努める。		
	保健・安全・衛生に関する意識の向上と保健委員会活動の活性化	手指消の徹底を図り、感染防止に努める。	カウンセリング一年生事前アンケート	
		食事、睡眠、ストレスの状況を把握し、きめ細やかな健康指導を行う。		
		生徒の保健委員会を開催し、保健や給食に関する活動を活性化する。		
庶務研修部	教職員の資質・能力向上のための職員研修の実施	生徒の実態、変化する社会に応じた職員研修を実施する。	生徒対象の授業・生活アンケート	
		SC、SSWや、地域の関係機関を利用した校内研修を実施する。		
		校外研修で得た情報を職員間で還流し、職員研修を充実させる。		
	個に応じた学習活動の研究、図書環境整備の取組	生徒の情報を職員間で共有し、個の特性に応じた指導・支援の仕方を検討・検証する。	生徒対象の図書室利用アンケート	
		生徒の実態を踏まえ、必要な学習内容・必要な指導について、研修を行う。		
		読書活動の充実と生徒の居場所づくりを図るために、図書室の環境整備に取り組む。		
学校事務	経営参加型の事務室業務の推進	生徒・保護者のニーズに応えるため、より効果的な予算の編成・執行を行う。		
		各分掌と情報の共有化を図り、学校経営目標が実現するための事務処理を行う。		
		生徒・保護者に対して、より分かりやすい内容で的確に情報発信する。		